



平成 25 年 9 月 3 日
水管理・国土保全局
砂防部 砂防計画課

インドネシア国マルク州アンボン島における天然ダム決壊に関する 緊急現地調査結果について

以下の調査結果概要について、現地調査団がインドネシア政府に提言してきました。

【調査結果概要】

- 越流によって生じた流路の両岸は、比高が高く（約 100m）、急勾配（約 40°）で不安定な状態にあり、崩壊により再閉塞するおそれが高い。
- 下流河道には、20m の河床上昇が確認された地点もある等、大量の不安定土砂が堆積しており、次期洪水により土砂流出が懸念される。
- 下流氾濫範囲では、河道が完全に埋没しており、次期出水時にどの方向にも洪水が流れる恐れがある。
- 天然ダムの決壊による洪水で浸水した地域では、再度洪水被害の危険性があり、下流導流堤や遊砂地などの対策について、インドネシア政府に助言を行った。

○ 現地調査団の派遣概要

期 間：平成 25 年 8 月 18 日（日） ～ 24 日（土）
人 数：土砂災害専門家 5 名
派遣先：インドネシア国マルク州アンボン島ワイエラ川流域 等

問い合わせ先

国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課地震・火山砂防室
室長 岡本 敦（内線 36-151）
砂防部砂防計画課
課長補佐 林 孝標（内線 36-142）
代表 03-5253-8111
直通 03-5253-8466
FAX 03-5253-1610

独立行政法人国際協力機構 地球環境部
参事役 宮坂 実（内線 9548）
代表 03-5226-6660
FAX 03-5226-6343